

静岡大学生涯学習教育研究センター

地域と大学

第23号

Newsletter No.23, Center for Education and Research in Lifelong Learning

2011年度社会教育主事講習実施報告

生涯学習教育研究センター長 阿部 耕也

2011年度の静岡大学社会教育主事講習は、静岡・愛知・岐阜・三重の4県からあわせて29名の受講生を迎え、7月25日（月）から8月20日（土）までの4週間にわたり、静岡大学のほか、静岡県立森林公園「森の家」、富士宮市麓山の家、静岡市立登呂博物館、静岡市産学交流センターなどを会場として実施しました。

東海地区に属する静岡大学・愛知教育大学・岐阜大学・三重大学の4大学が文部科学大臣の委嘱を受けて開催するこの社会教育主事講習は、静岡・愛知・岐阜・三重の4県に在住の生涯学習・社会教育行政担当者、学校教員などを対象として社会教育に携わる指導者の育成を図るための講習ですが、本年度は静岡大学が開催校をお引き受けすることになりました。

* * *

本学では、1974年度から1998年度までに10回の講習を教育学部において実施しています。また、1997年度に静岡大学生涯学習教育研究センターが設立されてからは、同センターが講習の運営に携わることになり、1998・1999・2003・2008年度には教育学部の支援を受けて講習を行いました。本年度はそれ以来3年ぶりの開催であり、本学教育学部の先生方ならびに他大学・他機関の先生方にも多大なご支援をいただき、本講習の運営を進めてきました。幸い、多くの関係者のご協力や受講生の

自主的な活動もあって、日程に沿った講習を無事終了することができました。

講義・演習グループワーク・施設見学のほか、中山間地における棚田再生の現場でのフィールドワークや全日本チャンピオンの指導によるオリエンテーリング実習など、本学の特色ある教育・研究・地域連携資源を生かしたプログラムも好評でした。

* * *

7月25日の静岡大学学生会館での開講式・講義に始まった本年度の講習は、県立森林公園森の家ならびに富士宮市麓山の家での2回にわたる宿泊研修をはさみ



開講式 (7/25)



講義のようす (生涯学習と家庭教育) (7/26)



講義を受ける受講生 (7/27)



宿泊研修 (静岡県立森林公園「森の家」) (7/29)

ながら、8月20日、静岡大学学生会館での演習グループワーク成果発表会で約4週間の長丁場が締めくくられました。

* * *

多忙なスケジュールを縫って参加する受講者に負担をできるだけかけないよう、多くの講習日を講義と演習の2本立てとし、2度にわたる2泊3日の宿泊研修も従来以上に密度の濃いものにして講習日程を短縮しました。その分受講者にとっては、これまで以上に過密なスケジュールとなり、東電管内の富士宮市での宿泊研修では、計画停電に備え、発電機など非常用設備を持ち込んでの講習となるなど、運営側も神経を使うものとなりました。そうした事情に加え、今回も猛暑の中での長期講習となり、受講生にとっては厳しい日々だったかと思いますが、互いに支え合って無事講習を修了され、社会教育主事の資格を授与される運びとなりました。

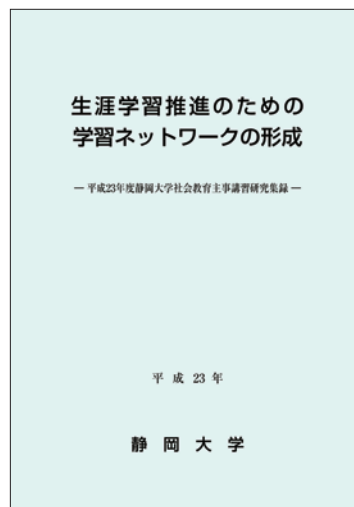
* * *

静岡大学にとっては、静岡・愛知・岐阜・三重の四県を対象とした東海ブロックに入ってから実施した2回目の主事講習となりました。これまで長く続いてきた傾向ですが、参加者が年々減少しているだけでなく、分割受講により演習を取らない受講者もいるため、従来の6班構成から今回は2班構成としました。①「生涯学習社会の構築とネットワーク化の課題」、②「地域文化活動の体系化と社会教育施設の役割」を小テ

マとして立て、受講者の希望を入れつつ、2つのグループを作りました。

結果的には前回とほぼ同数の参加者があったため、各受講者が演習で取り組もうとする内容に応じて1班あたり2グループ、各5人程度の編成としました。従来より指導する演習講師が少ないなか、要求される作業量は同じで、本年度の受講生はとりわけ負担が大きかったかもしれません。

他県からの受講者の中には、講習中、ほとんど自宅に戻られなかった方々もいました。講義後や数少ない休日にも、演習グループワークのための資料集めや施設訪問をしたり、職場の同僚に資料収集と送付を依頼したり、また受講生がチームワークを発揮しながら休む間もなく奮闘され、要求される課題を成し遂げることができました。その健闘に敬意を表したいと思います。



受講生のグループワークの成果「研究集録」



グループワーク（静岡県立森林公園「森の家」）（7/28）



弥生人になって記念撮影（登呂博物館）（8/2）



宿泊研修でのオリエンテーリング（8/8）



懇親会（ふもとつばら）（8/8）



棚田（清沢塾）でのフィールドワーク（8/17）



成果発表会（8/20）

■日程表

| 月/日 | 午前 | | 午後 | | | 夜間 | 会場 |
|--------------|--|-----------------------------------|--|--------------------------------------|---|----|-----------------------|
| | 8:50~10:20 | 10:30~12:00 | 12:50~14:20 | 14:30~16:00 | 16:10~17:40 | | |
| 7月25日 (月) | 10:00~12:00 [社会教育演習] 開講式・オリエンテーション | | [生涯学習概論] 生涯学習の意義 (阿部耕也) | | 16:10~17:10 [社会教育演習] グループワーク (阿部・金子) | | 静岡大学大学会館3階ホール |
| 7月26日 (火) | [生涯学習概論] 生涯学習と家庭教育 (林のぶ) | | [生涯学習概論] 社会教育の内容・方法と形態 (渋江かさね) | | | | 静岡大学理学部B棟2階211室 |
| 7月27日 (水) | [生涯学習概論] 生涯学習情報と学習相談 (松永由弥子) | [生涯学習概論] 社会教育と社会教育行政 (佐藤貴大) | [生涯学習概論] 生涯学習と社会教育 (伊藤俊夫) | | | | 静岡大学附属図書館6階大会議室 |
| 7月28日 (木) | [社会教育演習] 社会教育施設見学 | | [生涯学習概論] 生涯学習と学校教育 (猿田真嗣) | | [社会教育演習] グループワーク (阿部・金子) | | |
| 7月29日 (金) | [生涯学習概論] 生涯学習関連施設の経営 (金子 淳) | | [生涯学習概論] 地域社会における学習支援システム (阿部耕也) | [社会教育演習] グループワーク (阿部・金子) | | | (宿泊) 静岡県立森林公園「森の家」 |
| 7月30日 (土) | [社会教育演習] グループワーク (阿部・金子) | | | | | | |
| 8月1日 (月) | [社会教育演習] グループワーク (阿部・金子) | [社会教育計画] 社会教育の広報・広聴 (河井孝仁) | [社会教育計画] 学習情報の提供システム (桑村佐和子) | | | | 静岡大学附属図書館6階大会議室 |
| 8月2日 (火) | [社会教育計画] 社会教育施設の事業と経営 (長谷川秀厚) | | [社会教育計画] 少子高齢・人口減少の進行と社会教育の課題 (馬居政幸) | | [社会教育演習] 社会教育施設見学 | | 静岡市立登呂博物館 |
| 8月3日 (水) | 9:20~10:20 [社会教育演習] 社会教育施設見学 | [社会教育計画] 調査の意義と内容 (阿部耕也) | [社会教育計画] 社会教育計画 (渋江かさね) | | 16:10~17:10 [社会教育演習] グループワーク (阿部・金子) | | 静岡市産学交流センター7階大会議室 |
| 8月4日 (木) | [社会教育演習] グループワーク (阿部・金子) | [社会教育計画] 学習相談の方法 (松永由弥子) | [社会教育計画] 社会教育の対象の理解と構造化 (野島正也) | | 16:10~17:10 [社会教育演習] グループワーク (阿部・金子) | | 静岡大学附属図書館6階大会議室 |
| 8月5日 (金) | [社会教育計画] 社会教育の評価 (原 義彦) | | [社会教育演習] グループワーク (阿部・金子) | | | | |
| 8月8日 (月) | [社会教育演習] 社会教育施設見学 | | [社会教育演習] 野外活動 (村越 真) | | [社会教育演習] グループワーク (阿部・金子) | | (宿泊) ふもとつばら |
| 8月9日 (火) | 9:45~12:00 [社会教育特講] 青少年の学校外教育の組織化 (白木賢信) | | [社会教育特講] 博物館と文化活動 (金子 淳) | [社会教育特講] 欧米の社会教育の歴史 (菅野文彦) | [社会教育演習] グループワーク (阿部・金子) | | (宿泊) 富士宮市麓山の家 |
| 8月10日 (水) | [社会教育特講] 社会教育施設のネットワーク化 (金子 淳) | [社会教育演習] グループワーク (阿部・金子) | | | | | |
| 8月11日 (木) | [社会教育特講] 地域社会と社会教育 (角替弘志) | [社会教育特講] 社会教育の指導者・職員 (上條秀元) | [社会教育特講] 芸術活動と地域づくり (小西潤子) | | [社会教育演習] グループワーク (阿部・金子) | | |
| 8月12日 (金) | [社会教育特講] 多文化共生と教育 (宇都宮裕章) | | [社会教育特講] 社会教育法制 (梅澤 収) | [社会教育特講] 地域文化の活性化と大学 (上利博規) | [社会教育演習] グループワーク (阿部・金子) | | 静岡大学理学部B棟2階212室 |
| 8月16日 (火) | [社会教育特講] キャリア教育と生涯学習 (山崎保寿) | | [社会教育特講] 生涯スポーツの理論と実際 (松井恒二) | [社会教育特講] 大学の機能開放・拡充 (阿部耕也) | [社会教育演習] グループワーク (阿部・金子) | | |
| 8月17日 (水) | [社会教育演習] フィールドワーク (中井弘和) | | | [社会教育特講] リスクマネジメントと防災教育 (前田恭伸) | | | 清沢塾・静岡大学理学部B棟2階212室 |
| 8月18日 (木) | [社会教育特講] 少子高齢化社会とNPO (日詰一幸) | | [社会教育特講] 文化財の保護と世界遺産 (柴垣勇夫) | | [社会教育演習] グループワーク (阿部・金子) | | 静岡大学理学部B棟2階212室 |
| 8月19日 (金) | [社会教育演習] グループワーク (阿部・金子) | | | | | | |
| 8月20日 (土) | [社会教育演習] 成果発表会・閉講式 | | | | | | 静岡大学大学会館3階ホール |

講師名簿

| 科目名(単位数) | 内容・テーマ | 氏名 | 所属・職名 |
|-----------------|----------------------|----------------|----------------------------|
| 生涯学習概論 (2単位) | 生涯学習概論 | 阿部 耕也 | 静岡大学生涯学習教育研究センター教授 |
| | 生涯学習と家庭教育 | 林 のぶ | (社)国際女性教育振興会静岡県支部長 |
| | 社会教育の内容・方法と形態 | 渋谷かさね | 静岡大学大学院教育学研究科准教授 |
| | 生涯学習情報と学習相談 | 松永由弥子 | 静岡産業大学情報学部准教授 |
| | 社会教育と社会教育行政 | 佐藤 貴大 | 文部科学省生涯学習政策局社会教育課地域学習活動企画係 |
| | 生涯学習と社会教育 | 伊藤 俊夫 | (財)日本生涯学習総合研究所評議員 |
| | 生涯学習と学校教育 | 猿田 真嗣 | 常葉学園大学教育学部教授 |
| | 生涯学習関連施設の経営 | 金子 淳 | 静岡大学生涯学習教育研究センター准教授 |
| | 地域社会における学習支援システム | 阿部 耕也 | 静岡大学生涯学習教育研究センター教授 |
| 社会教育計画 (2単位) | 社会教育の広報・広聴 | 河井 孝仁 | 東海大学文学部教授 |
| | 学習情報の提供システム | 桑村佐和子 | 石川県立大学教養教育センター准教授 |
| | 社会教育施設の事業と経営 | 長谷川秀厚 | 静岡市立登呂博物館学芸員 |
| | 少子高齢・人口減少の進行と社会教育の課題 | 馬居 政幸 | 静岡大学教育学部教授 |
| | 調査の意義と内容 | 阿部 耕也 | 静岡大学生涯学習教育研究センター教授 |
| | 社会教育計画 | 渋谷かさね | 静岡大学大学院教育学研究科准教授 |
| | 学習相談の方法 | 松永由弥子 | 静岡産業大学情報学部准教授 |
| | 社会教育の対象の理解と構造化 | 野島 正也 | 文教大学副学長(越谷担当)・人間科学部教授 |
| | 社会教育の評価 | 原 義彦 | 秋田大学教育文化学部准教授 |
| 社会教育演習 (2単位) | 野外活動(オリエンテーリング) | 村越 真 | 静岡大学教育学部教授 |
| | 野外活動(棚田) | 中井 弘和 | 静岡大学名誉教授 |
| | グループワーク(1班) | 阿部 耕也 | 静岡大学生涯学習教育研究センター教授 |
| | グループワーク(2班) | 金子 淳 | 静岡大学生涯学習教育研究センター准教授 |
| 社会教育特講 (3単位) | 青少年の学校外教育の組織化 | 白木 賢信 | 東京家政大学人文学部准教授 |
| | 博物館と文化活動 | 金子 淳 | 静岡大学生涯学習教育研究センター准教授 |
| | 欧米の社会教育の歴史 | 菅野 文彦 | 静岡大学教育学部教授 |
| | 社会教育施設のネットワーク化 | 金子 淳 | 静岡大学生涯学習教育研究センター准教授 |
| | 地域社会と社会教育 | 角替 弘志 | 常葉学園大学学長・教授 |
| | 社会教育の指導者・職員 | 上條 秀元 | 常葉学園大学教育学部教授 |
| | 芸術活動と地域づくり | 小西 潤子 | 静岡大学教育学部教授 |
| | 多文化共生と教育 | 宇都宮裕章 | 静岡大学教育学部准教授 |
| | 社会教育法制 | 梅澤 収 | 静岡大学教育学部教授 |
| | 地域文化の活性化と大学 | 上利 博規 | 静岡大学人文学部教授 |
| | キャリア教育と生涯学習 | 山崎 保寿 | 静岡大学大学院教育学研究科教授 |
| | 生涯スポーツの理論と実際 | 松井 恒二 | 静岡大学教育学部教授 |
| | 大学の機能開放・拡充 | 阿部 耕也 | 静岡大学生涯学習教育研究センター教授 |
| | リスクマネジメントと防災教育 | 前田 恭伸 | 静岡大学工学部准教授 |
| | 少子高齢化社会とNPO | 日詰 一幸 | 静岡大学人文学部教授 |
| 文化財の保護と世界遺産 | 柴垣 勇夫 | 愛知淑徳大学人間情報学部教授 | |

2011年度静岡大学公開講座が開催中です

今年度の公開講座は、次ページの表のとおり、5月から翌年3月にかけて多彩な15講座をお送りしています。それぞれの専門分野を生かした、特色ある講座が開講されています。東西に長い静岡県の地形を考慮し、

静岡、浜松、沼津など、静岡県の県内各所で開講し、静岡キャンパス、浜松キャンパスをはじめ、静岡市産学交流センター(B-nest)や沼津市民文化センターなどが会場となっています。

■公開講座の一覧

| 講座名 | 講師 | 日時 | 会場 | 対象 | 定員 | 受講料 | 主催 |
|---|---|--|-------------------------------|------------------------------|---------------|--------|----|
| 安心登山のための読図とナビゲーションスキル(中級編) | 教育学部教授 村越 真 ブロードベンチャーレーサー 宮内佐季子 | 5/8(日)9:30～16:00 | 静岡キャンパス | 登山・アウトドア活動を行う一般市民 | 20 | 4,000 | 教 |
| 終末期医療の「いま」と「これから」～ヒューマンケアの視点から～[全6回] | 人文社会科学研究科教授 松田純 NPO法人ヒューマン・ケア支援機構副理事 上藤美紀代 人文学部法学科准教授 神馬幸一 人文社会科学研究科教授 南山浩二 人文社会科学研究科准教授 堂園俊彦 人文社会科学研究科教授 笠井 仁 | 5/24・31、6/7・14・21・28(火)18:30～20:30 | アイセル21(葵生涯学習センター) | 一般市民 | 30 | 1,700 | 人 |
| 英語で自分の「体験談」を書きましょう! [全4回] | 人文学部教授 スティーヴ・レッドフォード | 5/28、6/18、7/9・30(土)18:30～20:30※最終回のみ21:00まで | 静岡市産学交流センター B-nest | 英検準2級以上または同等レベル以上の方(高校生以上) | 12 | 2,500 | 人 |
| 体験!大学の化学実験[全2回] | 機器分析センター准教授 近藤 満 | 8/6(土)、8/7(日)10:00～16:00 | 静岡キャンパス | 原則として中学生以上(小学生は保護者の同伴が必要) | 15 | 無料 | 生 |
| 体育授業としての卓球指導法研修会 [全2回] | 教育学部教授 吉田和人 NPO法人卓球交流会 山田耕司 | 8/6(土)13:30～16:30、8/7(日)9:00～12:00 | 静岡キャンパス | 中学校や高校などにおいて卓球の授業を担当する教員 | 35 | 1,000 | 実 |
| 静大キャンパス探訪～生物調査隊とキャンパスの自然を観察しよう～[全3回] | 教育学部教授 小南陽亮 教育学部技術職員 新妻廣美 農学部学術研究員 加藤英明 | 8/6(土)10:00～12:00、8/20(土)19:00～21:00、8/27(土)10:00～12:00 | 静岡キャンパス | 一般市民、学生、小中高生(中学生以下は保護者同伴) | 20 | 無料 | キ |
| 小学校外国語活動スキルアップ講座Ⅳ | 教育学部准教授 矢野 淳 | 8/19(金)10:00～16:00 | 静岡キャンパス | 静岡県内の小・中・特別支援学校教員 | 25 | 500 | 実 |
| 〈いのち〉と環境を考える [全3回] | 理学部講師 宗林留美 人文学部教授 松田 純 大学教育センター教授 芳賀直哉 | 9/10・24・10/15(土)14:00～16:00 | 沼津市民文化センター | 一般市民 | 50 | 1,400 | 生 |
| 食品分析のための高速液体クロマトグラフィー基礎講座 [全3回] | 農学部准教授 徳山真治 | 9/14(水)、9/15(木)、9/16(金)13:00～18:00 | 静岡キャンパス | 高校で化学IまたはIIを履修した者 | 10 ～ 15 | 15,000 | 農 |
| 安心登山のための読図とナビゲーションスキル(秋期・基礎完全マスター編) [全4回] | 教育学部教授 村越 真 オリエンテーリング日本代表 松澤俊行 | 10/3・17・31、11/14(月)13:00～16:00 | 静岡キャンパス | 登山・アウトドア活動を行う一般市民 | 20 | 6,000 | 教 |
| 森林(もり)のめぐみ～地球環境を救うもの～ | 農学部教授 水永博巳 農学部教授 土屋 智 農学部教授 安村 基 農学部教授 西田友昭 | 10/8(土)13:10～17:00 | 静岡市産学交流センター B-nest | 中学・高校教員および一般市民 | 40 | 無料 | 農 |
| バイオテクノロジー体験～茎頂培養をしてみよう～ | 農学部准教授 河原林和一郎 農学部助教 浅井辰夫 農学部助教 八幡昌紀 農学部技術専門職員 増田幸直 農学部技術専門職員 西川浩二 農学部技術専門職員 成瀬博規 農学部技術専門職員 成瀬和子 | 11/3(木)9:45～12:15 | 農学部附属地域フィールド科学教育研究センター藤枝フィールド | 中学生以上 | 16 | 800 | 農 |
| ノルディックウォーキング&エクササイズと里山自然体験 [全5回] | 教育学部教授 杉山康司 教育学部准教授 祝原 豊 名誉教授 中野偉夫 静岡市非常勤嘱託 重岡廣男 | 11/8 9:00～12:00、11/15 9:00～12:00、11/22 9:00～12:00、2012年3/13 9:00～16:00、3/27(火)9:00～13:00 | 静岡キャンパス | メディカルチェック等で歩くことを制限されていない健康な方 | 30 | 10,500 | 教 |
| 情報学アラカルト講座2011 | 情報学部教授 矢野正俊 情報学部教授 田中宏和 情報学部教授 峰野博史 | 11/12(土)10:30～12:00 | 浜松キャンパス | 興味のある方なら誰でも | 各50 | 無料 | 情 |
| 家庭果樹を楽しもう!!～果樹のせん定教室～ | 農学部准教授 河原林和一郎 農学部助教 浅井辰夫 農学部助教 八幡昌紀 農学部技術専門職員 増田幸直 農学部技術専門職員 西川浩二 農学部技術専門職員 成瀬博規 農学部技術専門職員 成瀬和子 | 2012年2/25(土)9:00～12:00 | 農学部附属地域フィールド科学教育研究センター藤枝フィールド | 高校生以上 | 10 | 1,500 | 農 |

[主催欄凡例]

(生)=生涯学習教育研究センター (人)=人文学部 (教)=教育学部 (農)=農学部 (情)=情報学部
(実)=教育学部附属教育実践総合センター (キ)=キャンパスミュージアム

静岡大学創立60周年記念事業継続中！

1 静岡大学・読売新聞連続市民講座「地域から広がる可能性」

| 回 | 日時 | タイトル | 講師 | 参加者 |
|---|---------|--|--------------------|-----|
| 1 | 5/14(土) | 多文化の集う地域から対話を | 宇都宮裕章(静岡大学教育学部准教授) | 108 |
| 2 | 6/4(土) | 変容する家族と地域 | 冬木春子(静岡大学教育学部准教授) | 107 |
| 3 | 7/2(土) | 地域福祉と男女共同参画社会 | 笹原 恵(静岡大学情報学部教授) | 89 |
| 4 | 8/6(土) | ICT(情報通信技術)の進展と地域社会～絆の再生と創造～ | 伊東暁人(静岡大学人文学部教授) | 104 |
| 5 | 9/3(土) | 若者の居場所 | 荻野達史(静岡大学人文学部准教授) | 70 |
| 6 | 10/1(土) | 静岡の過疎山村・限界集落における地域づくり実践報告～縁側お茶カフェ・買い物ツアー・福祉朝市・お茶ツアー等々～ | 小櫻義明(静岡大学名誉教授) | 95 |
| 7 | 11/5(土) | 地産地消と我が国農業 | 柴垣裕司(静岡大学農学部准教授) | - |
| 8 | 12/3(土) | 地域から考える防災とジェンダー | 池田恵子(静岡大学教育学部教授) | - |

■会場：静岡市産学交流センター（B-nest）6階プレゼンテーションルーム

■参加費：無料

■主催：静岡大学生涯学習教育研究センター、読売新聞東京本社静岡支局

2 静岡大学・コープしずおか連携講座「<いのち>と環境を考える～共生社会を目指して～」

| 回 | 実施日 | | | タイトル | 講師 |
|---|----------|---------|----------|---------------------|----------------------|
| | 沼津会場 | 静岡会場 | 浜松会場 | | |
| 1 | 9/10(土) | 10/1(土) | 12/10(土) | 海のしくみと駿河湾深層水 | 宗林留美(静岡大学理学部講師) |
| 2 | 10/15(土) | 11/5(土) | 1/7(土) | いのちの森を守る闘い～南方熊楠の思想～ | 芳賀直哉(静岡大学大学教育センター教授) |
| 3 | 9/24(土) | 12/3(土) | 2/18(土) | 遺伝子技術のゆくと<いのち>の現在 | 松田 純(静岡大学人文学部教授) |

■会場：[沼津会場] 沼津市民文化センター [静岡会場] 静岡市産学交流センター（B-nest）

[浜松会場] アクトシティ浜松研修交流センター（第1回・第2回）、静岡大学浜松キャンパス（第3回）

■参加費：無料

■主催：静岡大学生涯学習教育研究センター、コープしずおか

3 静岡大学・中日新聞連携講座「3.11以降をどう生きるか～地域の再生と絆づくりのために～」

| 回 | 日時 | タイトル | 講師 |
|---|----------|--|---------------------------------|
| 1 | 10/8(土) | 震災後の再生可能エネルギーへの期待と省エネ | 松尾廣伸(静岡大学工学部助教) |
| 2 | 11/12(土) | 緩い絆創りで地域を元気にする～社会起業家「ブリッジパーソン」の役割～ | 相原憲一(静岡大学客員教授・一般社団法人絆塾代表理事) |
| 3 | 12/10(土) | 東日本大震災を起こした地震とその影響～「大地動乱の時代」をどう生きるか～ | 小山真人(静岡大学教育学部教授・防災総合センター副センター長) |
| 4 | 1/7(土) | 東日本大震災と災害ボランティア活動～山元町の写真洗浄・複写プロジェクトより～ | 吉田 寛(静岡大学情報学部准教授) |
| 5 | 2/18(土) | 地域の絆でリスク社会を乗り越える | 岡田安功(静岡大学情報学部教授) |

■会場：アクトシティ浜松研修交流センター（第1回・第3回・第4回）

静岡大学浜松キャンパス（第2回・第5回）

■参加費：無料

■主催：静岡大学地域連携協働センター、中日新聞東海本社

■企画協力：静岡大学生涯学習教育研究センター

2011年度上半期（4月～9月）の事業報告

主催事業

公開セミナー

「学ぶって楽しい！～大学で学ぼう～」

知的障害のある人が、学校卒業後も生涯学習の機会を持ち、より豊かな人生を送ることができることを目的に、「学ぶって楽しい！」と題する公開セミナーを実施しました。知的障害のある人にとっても、学び続ける機会があることで、社会参加の幅が広がり、人生をより豊かにすることができます。ボランティアの方々も含めたくさんの方々に参加いただきました。

・日時：2011年6月19日（日）9:15～12:15

・プログラム：

[演習]「アイスブレイク～学びのなかま～」講師：大畑智里（静岡大学教育学部附属特別支援学校教諭）

[講義①]「体力向上のポイント」講師：伊藤 宏（静岡大学教育学部保健体育講座教授）

[講義②]「最新家電事情～家電の使い方、選び方で省エネ」講師：西谷貴史（株コジマCSR推進室）

・参加費：無料

・参加者数：58人

・会場：静岡大学教育学部G棟104教室

・主催：静岡大学生涯学習教育研究センター

・企画：静岡県知的障害者就労研究会

公開講座

「体験！大学の化学実験」

この講座は、一般の市民、特に中高校生を対象に、実際に理学部化学科の3年生の専門実験で行っている実験の一部を体験できる場を設けようと実施するものです。今回のテーマは「水の分析」で、水中のカルシウムやマグネシウム、鉄分の分析を行いました。2日目には参加者が普段飲んでいる、水を持参いただき、その中に含まれるカルシウム分の分析を行いました。

・日時：2011年8月6

静岡大学公開講座

中学や高校では体験できない化学実験を、大学の研究室で体験してみよう！大学の研究室で実際に触れて新しい科学の扉を開いてみましょう。

2011.8.6(土)・7(日) 10:00～16:00

講師：近藤 満先生(静岡大学機器分析センター准教授)

実施科目：本講座で扱っているカルシウムやマグネシウム、鉄分は日常生活に不可欠な元素です。2日目は、参加者に身近な飲料水やミネラルウォーター、その成分を調製する実験を行います。参加者一人一人が持ち帰るサンプルの作成も体験することが可能です。

※静岡大学理学部化学科3年生の専門実験で行っている実験の一部を体験します。

会場：静岡大学静岡キャンパス
定員：15人
対象：原則として中学生以上（小学生は保護者の同伴が必須）
申込方法：FAXまたは電話での申し込みが主となります（先着順）。
FAX: 054-243-2400
TEL: 054-243-2400
Eメール: llc@ipc.静大.ac.jp
※静岡大学理学部化学科3年生の専門実験で行っている実験の一部を体験します。

申込締切：申込1日前
その他：会場への行き方など、詳細につきましては、各会場への案内の後にご確認ください。

主催：静岡大学教育学部

静岡大学生涯学習教育研究センター
TEL: 054-243-2400 FAX: 054-243-2400 Eメール: llc@ipc.静大.ac.jp

体験！大学の化学実験

参加無料

日（土）、7日（日）10:00～16:00

- ・講師：近藤 満（静岡大学機器分析センター准教授）
- ・参加費：無料
- ・対象：原則として中学生以上（小学生は保護者の同伴が必要）
- ・会場：静岡大学静岡キャンパス
- ・参加者数：13人
- ・主催：静岡大学生涯学習教育研究センター

しずだいで飛び教室 in しずおか未来学園・夢未来塾「科学の楽しさ・化学の面白さ」

「しずだいで飛び教室」は、地域への大学開放事業の一つとして、静岡大学関係の教職員が、静岡県内の遠隔市町へ出向き、出前講演等を行うものです。今回は、静岡聖光学院中・高等学校で静岡青年会議所主催の「しずおか未来学園・夢未来塾」に協力して実施しました。

「夢未来塾」は、様々な分野で活躍する地域社会の講師を招き、人生の先輩として仕事に対する喜びや経験・情熱を地域子ども達に伝え、自らの将来を思い描き、目的に向かって努力することの大切さに気付く機会を与えるもので、今回は約800人の小学生が参加しました。料理人、大工、サッカー選手など41人の講師のうちの「学者」代表として理学部・坂本先生が4回にわたる講座を担当しました。

「学者」って何者だろう？「学者」はどこに居るのか？「学者」は何をしているのか？どうすれば「学者」になれるのか？といった事柄を小学生に伝えました。子どもたちはケイ素でできた様々なものをさわったり、α GELの衝撃吸収性の実演を見たりしながら、活発な質疑応答をしていました。

・日時：2011年9月18日（日）9:00～12:15

・講師：坂本健吉（静岡大学理学部教授）



- ・参加費：無料
- ・会場：静岡聖光学院中、高等学校
- ・主催：(社)静岡青年会議所、静岡大学生涯学習教育研究センター

企画協力事業

静岡市・大学連携事業 市民大学リレー講座 「文明と環境～人類社会が向かうべき未来とは～」

この事業は、静岡市内5大学と静岡市が主催して全5回の講座として実施するもので、このうち第2回が静岡大学の担当回でした。40代から90代までの市民45人が受講しました。モンゴルの遊牧文明について詳しく説明を受け、時代や文化に応じて異なる「環境」観を実感すると同時に、現在人類が直面している環境問題を考える手がかりとなっていたようです。

アンケートを見ると、日本と欧米の文化の違いについてはよく目にするが、遊牧文明の考え方について詳しい説明を初めて聞き興味深かった、「モンゴルの遊牧文明と環境」というテーマだけで連続講座をやってほしい、といった意見がありました。

- ・日時：2011年9月10日(土)～10月22日(土)
13:30～15:30

- ・プログラム：
 - ①9/10(土)「科学文明、資本主義、そして環境問題」
講師：飯山昌弘(静岡英和学院大学教授)
 - ②9/24(土)「モンゴルの遊牧文明と環境」
講師：楊海英(静岡大学人文学部教授)
 - ③10/8(火)「海と気候変動」
講師：植原量行(東海大学准教授)
 - ④10/15(土)「遺伝子組み換えと環境」
講師：内藤博敬(静岡県立大学助教)
 - ⑤10/22(土)「エネルギー環境問題を考える」
講師：長洲南海男(常葉学園大学教授)
- ・参加費：無料
- ・会場：アイセル21
- ・主催：静岡英和学院大学、静岡県立大学、静岡大学、東海大学、常葉学園大学、静岡市
- ・企画協力：静岡大学生涯学習教育研究センター



生涯学習教育研究センター運営委員会

当センターには、「生涯学習教育研究センター運営委員会」が組織されています。当センターの運営や組織について審議するとともに、全学公開講座の企画・立案・実施に関しても審議します。静岡大学の教員により組織され、定期的に審議をおこなっています。

運営委員名簿 (2011年度)

| | |
|-------|-------------------|
| 阿部 耕也 | センター長・センター専任教員・教授 |
| 小西 潤子 | 副センター長・教育学部教授 |
| 金子 淳 | センター専任教員・准教授 |
| 遠山 弘徳 | 人文学部教授 |
| 藤井 基貴 | 教育学部准教授 |
| 金 明美 | 情報学部准教授 |
| 三重野 哲 | 理学部教授 |
| 梅本 宏信 | 工学部教授 |
| 富田 涼都 | 農学部助教 |

木下 治久 電子工学研究所准教授
須藤 智 大学教育センター講師

生涯学習教育研究センターでは、学内の公開講座情報、大学開放事業などを掲載し、広報します。各種情報を当センターまでお寄せください。
URL <http://www.Lc.shizuoka.ac.jp/>

地域と大学 第23号

静岡大学生涯学習教育研究センター情報誌

発行日—— 2011年10月15日

発行—— 静岡大学生涯学習教育研究センター

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
(理学部B棟1階)

TEL: 054-238-4817 FAX: 054-238-4295

E-mail: LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

(事務局) 学術情報部研究協力課 ☎ 054-238-4317